台風10号 県内被害

県やICAT活動

広がる医療・福祉支援

健康を確認、感染症防止

台風10号で甚大な被害のあった岩泉町などでは多くの住民が避難所生活を続けており、長期的な生活環境の変化や衛生環境の悪化による健康への影響が懸念されている。県災害派遣福祉チームやいわて感染制御支援チーム（ICAT）などの医療・福祉チームが健康状態の把握や衛生用品の提供にあたり、口腔（こうくう）衛生の悪化による肺炎や食中毒などへの対策を呼び掛ける。各支援チームが情報共有する協議体の設置も検討されており、避難者の健康状態を注視していく。

【本記1面】

ヘリで避難した住民から健康状態などを聞き取る県災害派遣福祉チームのメンバー＝4日午後1時、岩泉町岩泉

県災害派遣福祉チーム6人は、3日から岩泉町岩泉の町民会館で健康相談などを開始。4日は緊急避難で自衛隊ヘリの到着場所となった岩泉中で、避難住民の健康状態の聞き取りなどを行った。大きく体調を崩す避難者はいなかったが、口の中の汚れが進み肺炎につながる危険性があるほか、居住空間が仕切られるようになると運動不足などで足腰が弱くなる廃用症候群が心配されるという。

チームリーダーの小泉進社会福祉士は「きちんとした歯磨きケアが必要だ。環境変化は強いストレスであり、精神的なサポートもしていきたい」と語る。

ICATは2日に先遣隊3人が町内3カ所の避難所を調査。▽トイレでの手の消毒剤や配膳時に使う手袋の不足による食中毒▽沢水を使った食器の洗浄によるレジオネラ菌感染の危険性―などが確認されたことから、4日にはチームの3人が避難所など5カ所を巡回し、人数分の消毒剤やペーパータオルなどを届けた。

先遣隊を務めた岩手医大付属病院感染症対策室長の桜井滋医師は「避難所では感染症のリスクを意識してほしい。衛生用品は消耗品であり、物資や提供手段を確保して継続的に届けていきたい」と語る。

さまざまな支援チームが支援に訪れる中、チーム間の連携も今後の課題だ。数回にわたって岩泉町に入った県災害派遣医療チーム（DMAT）調整本部の本部長を務める真瀬智彦教授（岩手医大）は「各チームがバラバラでは、本当に被災者のためになる活動ができない」と指摘。支援チームが毎日情報を共有する協議体の設置について関係者と検討を進めている。

土石流が被害拡大か

岩泉 岩手大准教授ら調査

岩泉町浅内の土石流の現場を調査する大河原正文准教授＝4日午後1時5分

岩手大理工学部の大河原正文准教授らは4日、台風10号により大きな被害を受けた岩泉町内の土石流発生現場を調査した。川沿いの斜面に複数の土石流の跡があり、山から川に多量の土砂が流入した痕跡を確認。土砂が川の底や岸などを削ったことで水の勢いを増幅させ、被害を拡大させた可能性があるとの見解を示した。

大河原准教授と同学部の学生らが同町門（かど）と浅内（あさない）の土石流発生現場などを調査した。門地区で小本川に流れ込んだ土石流の幅は約60㍍。沢から削られて落ちてきた複数の木と細かい石が散乱していた。石は大きいもので直径1㍍ほどで、ほとんどが同数㌢ほどと小さかった。

浅内の土石流は幅約100㍍に広がり、ガードレールを乗り越え川に流入。小さな石が多く、沢には深さ3㍍ほど土が削られた跡が残っていた。

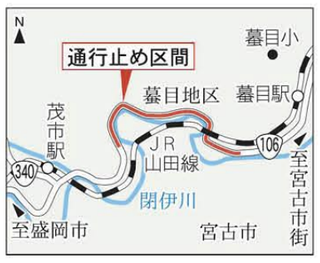
大河原准教授によると、本県の北上高地の地質は花こう岩のほかにチャートや砂岩、粘板岩などの硬い岩が多いが、風化の進行で亀裂が走り、砕けやすいという。山に雨が降って水がたまると、水が一気に沢を流れる特徴があり、「保水力の弱い地盤を石や木が土石流となって川に流入した。石は川を削って水の勢いが増し、下流に押し寄せたのだろう」と今回の被害が拡大した要因を想定する。

さらに大河原准教授は「台風被害の少なかった岩手の山は、不安定で崩壊しやすい斜面がたくさんある」と指摘。「まだ不安定な状態で残された土砂や木があるため、沢の近くに住む人は雨が降ったらすぐ逃げてもらいたい」と注意を呼び掛ける。

国道106号

全線再開のめど立たず

台風10号による被害で通行止めとなった国道106号は、依然として宮古市蟇目（ひきめ）の一部区間で通行ができない状態が続いている。閉伊川の洪水で流失した道路の復旧工事に時間を要しており、4日現在、通行再開のめどは立っていない。



三陸国道事務所によると、通行止めは宮古市蟇目を通る閉伊川沿いの約1㌔の区間。それを除く、盛岡市から宮古市茂市と、同市蟇目の途中から宮古中心部までは通行が可能となっている。盛岡から宮古に向かうには、釜石を通るなど大幅な迂回（うかい）が必要になる。

同事務所は当初、3日午後の全線通行再開を予定していたが、蟇目地区の川の水位が想定以上に高く、積んでいた大型土のうが崩れたため、道路の基礎部分を補強するなど作業の見直しを余儀なくされた。24時間態勢で工事に当たっているが、水中部分の工事もあり難航しているという。

石井国交相が来県、視察

「避難判断には情報理解が重要」

遠藤譲一市長（右）から台風被害の説明を受ける石井啓一国交相（中央）＝4日午後3時50分ごろ、久慈市役所

石井啓一国土交通相は4日、台風10号に伴う豪雨災害の現場視察のため来県した。終了後、久慈市内で記者団に対し、高齢者や障害者施設などの防災対策として「管理者が河川情報を理解する機会を設けたい」との方針を示した。

岩泉町乙茂（おとも）の高齢者グループホームで9人が死亡したことを念頭に、石井国交相は「的確に避難判断するには、施設管理者が気象や河川の情報を十分理解することが重要だ」と強調。厚生労働省や県などと周知に向け連携を図るとした。

国の管理河川の増水時、出先機関が市町村長に対して情報提供や助言を行う仕組みにも触れ「県の管理河川にも広げたい」との意向を語った。

これに先立ち、石井国交相は盛岡市内のホテルで達増知事と懇談。達増知事は被災住宅の復旧対策や激甚災害指定などを要望し、石井国交相は「被災自治体を引き続き全面的に支援する」と答えた。

久慈市では遠藤譲一市長から被害状況の説明を受けたほか、岩泉町では同グループホームの被災現場や避難所などを視察した。

Q 避難情報　豪雨や暴風、津波などの災害が発生した時や発生する恐れがある際に、市町村が発令する。「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」の3種類がある。いずれも法的拘束力はない。国の指針では、避難準備情報は高齢者や障害者ら災害時要援護者の避難開始と、対象外の人の準備開始を求めるため市町村が発令する。勧告で避難を開始、指示では直ちに安全な場所に逃げるよう求めている。市町村は、気象庁の注意報や警報、雨量や水位、過去の災害情報などに基づいて判断する。

岩泉、宮古の停電1033戸

携帯通信障害 各地で続く

県内の停滞したライフラインは4日も、台風10号による被害の影響で岩泉町などを中心に停電や通信障害、断水が続いた。

東北電力岩手支店によると、停電は同日午後2時現在で岩泉町と宮古市の1033戸となった。停電しているのは同町の鵜入（そいり）や安家（あっか）地区など970戸と宮古市小国（おくに）地区の63戸。

同支店によると、停電戸数は4日中に975戸まで解消する見通しで、残る箇所は道路が改修された段階で順次復旧作業に着手するという。

携帯電話の通信障害は、NTTドコモが同日午前10時現在、久慈市、宮古市、岩泉町、野田村の4市町村、auは同日午前10時半現在、久慈市、宮古市、岩泉町、田野畑村の4市町村で発生している。ソフトバンクは同日午前9時現在、久慈市と宮古市、岩泉町で利用しづらい状況。

断水は、県によると宮古市で約千戸、久慈市で約240戸、岩泉町の多くの地域などで続いている。

固定電話やインターネット回線などは、NTT東日本岩手支店によると同日午後4時現在も岩泉町と普代村、田野畑村で約2320回線が利用できない状況で、復旧の見込みは現時点では未定という。

同支店は4日までに、岩泉町内6カ所に無料の特設公衆電話を計8台設置した。

設置箇所は次の通り。▽旧大平小中学校▽大川地区総合交流センター▽釜津田小▽釜津田中▽小川生活改善センター▽安家生活改善センター

不明男性の車発見

北海道清水町

台風10号の豪雨で2人が行方不明となっている北海道清水町で、行方不明者の1人、長山誠教さん(63)が所有する車が4日午後、捜索隊により発見された。車内や付近で長山さんは見つからなかった。長山さんは8月30日夕から連絡が取れておらず、町の災害対策本部によると、車に乗っていたかは不明。

清水町では、長山さんのほか椿勝彦さん(75)も行方不明で、道警や自衛隊は4日、午前8時ごろから約200人態勢で捜索。5日も午前中から捜索を続ける。

最高裁裁判官の国民審査

期日前投票前倒し

改正案提出へ 衆院選と同じ11日前に

政府は、最高裁裁判官を罷免するかどうかを国民が直接決める「国民審査」の期日前投票の開始日を、衆院選と同じ「投票日11日前」に前倒しするため、国民審査法改正案を26日召集の臨時国会に提出する方針を固めた。政府関係者が4日、明らかにした。衆院選の期日前投票に訪れても国民審査ができない二度手間をなくし、投票者数を増やす狙いがある。

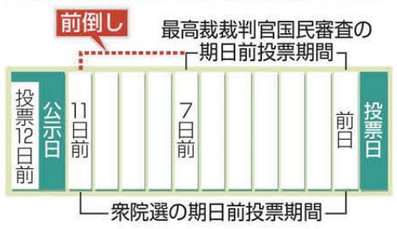
国民審査と同時に行われる衆院選の期日前投票は、公選法で公示（通常は投票日12日前）翌日から開始できると規定。一方、最高裁裁判官国民審査法は事前投票を投票日の「7日前から」としており、公示翌日から4日間に期日前投票所を訪れた有権者は国民審査に投票できない。

このため、2014年の国民審査の期日前投票者数は衆院選より約159万人も少なかった。また、国民審査だけのために投票所を再訪した有権者に、誤って衆院選の投票用紙をもう一度交付してしまう二重投票のミスもたびたび発生。「利便性向上のため衆院選と期間を合わせるべきだ」との意見が出ていた。

国民審査の期日前投票開始が遅いのは、公示日に確定する審査対象の裁判官の名前を投票用紙に記載する必要があり、印刷などに時間がかかるためだ。今回の改正案では、公示日より前に審査する裁判官を各都道府県選挙管理委員会に通知し、各選管は印刷を始める。

通知後、新たに裁判官が任命された場合は投票用紙を作り直し、期日前投票の開始日は従来の「7日前から」に戻す。

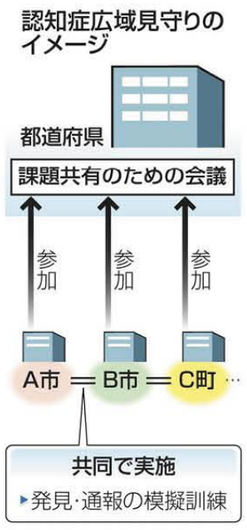
国民審査と衆院選の期日前投票期間の違い



Q 審査　最高裁裁判官の国民審査　憲法79条に基づき、任命後初の衆院選と同時に行われる。その後は、前回の審査から10年経過後の衆院選ごとに再審査を受ける。投票用紙には審査対象となる裁判官の名前があらかじめ記されており、辞めさせたいと思う裁判官の欄に「×」印を付ける。「×」以外の記入は全て無効となり、何も記入しなければ信任したと見なされる。「×」の票が有効投票の過半数になった裁判官は罷免されるが、過去に罷免された例はない。

認知症不明者見守りを強化

厚労省方針 市町村越え連携



厚生労働省は認知症の人が行方不明になるケースに対応するため、2017年度から都道府県単位での広域の見守りを強化することを決めた。現在は市町村ごとの取り組みが中心だが、発見や通報などの模擬訓練を複数の自治体で共同実施したり、地域の課題を共有するための会議を設置したりする。17年度予算の概算要求に約5600万円を盛り込んだ。

警察庁統計では、認知症の行方不明者は15年に1万2208人で、3年連続で1万人を超えている。愛知県大府市で07年に起きた鉄道事故など家族が損害賠償を請求されるケースもあり（最高裁は賠償責任を否定）、事故を未然に防ぎ、本人や家族が安心して暮らせる地域づくりが狙いだ。

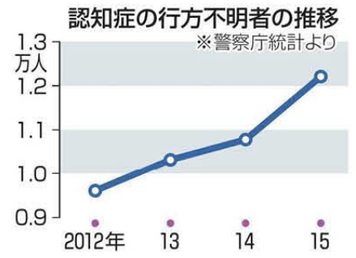
厚労省はこれまで市町村に対し、認知症高齢者の連絡先を登録できるシステムの構築や、行方不明になった人を捜す市民参加の模擬訓練、ボランティアによる自宅訪問などの事業に補助金を出してきたが、自治体間で取り組みに差があった。

認知症の人が自宅や施設から外出後、予想以上に長距離を移動し、居住地以外の自治体で保護されるケースもたびたび起きている。福岡県大牟田市や北海道釧路市のように近隣市町村を含めた広域の「SOSネットワーク」をつくっている例がある一方、縦割り意識や個人情報の取り扱いを巡る温度差から、市町村単独での対応にとどまる場合が多い。

厚労省は、取り組みが遅れている市町村と先進地域の担当者を一堂に集め、課題を共有する会議を都道府県が開くよう後押しする。市町村を越えた広域での訓練も促し、いずれも費用の半分を国が補助する。

認知症高齢者の事故を巡っては、関係省庁が作業部会をつくり、民間保険の活用などが検討課題に挙がっている。

認知症の行方不明者の推移



家族の負担 地域で共有を

【解説】厚生労働省が認知症の人に対する広域の見守りを強化するのは、市町村単独での取り組みに限界があるからだ。自宅から遠く離れた場所で保護されたり、事故に遭ったりするケースは後を絶たず、自治体間の情報共有や意識の底上げを図るため、司令塔となる都道府県が果たすべき役割は大きい。

認知症の見守りを巡っては地域差が指摘されてきた。福岡県大牟田市は2004年度から、「認知症の不明者が出た」との想定で、警察、行政、消防と住民が一体となった模擬訓練を実施。一方で、ノウハウや人手が不足し、取り組みが遅れている自治体もある。日頃から認知症の人や家族の相談に乗る認知症サポーターの養成も、地域によってばらつきがあるのが実情だ。

厚労省の推計では、認知症の高齢者は25年に約700万人（5人に1人）に達する。在宅での介護もますます増えるだろう。国が国家戦略に掲げた「住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができる社会」を実現するには、家族の負担をいかに地域で共有できるかが鍵となる。

Q 認知症の行方不明者　警察庁の統計では、2015年に認知症やその疑いで行方不明になったとして全国の警察に届けられたのは1万2208人で、3年連続で1万人を超えた。統計を取り始めた12年以降、毎年増加している。本人は目的を持って外出しており、当てもなく歩き回る「徘徊（はいかい）」という言葉は、認知症への誤解や偏見を招きかねないとの理由から、使わない自治体や団体が増えている。

時事川柳 編集局選

結論はショウチの上での報告書　北上・谷地沼吉太郎

胸算用日ロの腹の読み比べ　二戸・久保田和雄

交渉と返還異次元北の島　盛岡・小野寺幸治

目をおおう台風一過の里の秋　盛岡・安田　浩一

てんでんこ川でも早くより高く　一関・藤本　千二

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。